

# 読み取りデモ手順書

本アプリケーションをご使用して読み取りデモを行う際は、以下の**1～5**の手順をご参考ください。  
なお UTR-UA1709-OPT1 を使用してデモを行う際には、使用ガイドラインも併せてご参考ください。

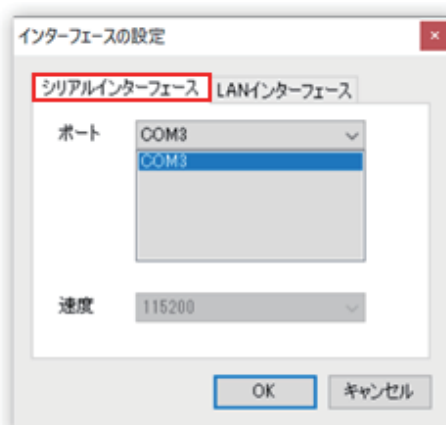
## 1 アプリケーションの起動方法

ダウンロードしたアプリケーションのファイル（UTRDMDemoAppV100.zip）を解凍するとフォルダ（UTRDMDemoAppV100）が作成されますので、適当な場所に格納してください。  
フォルダ内の「UTRDMDemoApp.exe」をダブルクリックすると、アプリケーションが起動します。

## 2 インターフェースの設定

### (1) USB で接続する

USB インターフェースを持つリーダーと PC を接続する場合には、  
[シリアルインターフェース] よりリーダーが接続されている COM ポート(シリアルポート番号)を選択し、  
[OK] ボタンを押下してください。  
※COM ポートの確認方法は「UTRRWManager 取扱説明書」をご参照ください。



### (2) LAN で接続する

LAN インターフェースを持つリーダーと PC を接続する場合には、  
[LAN インターフェース] よりリーダーの IP アドレス、ポート番号を入力し、[OK] ボタンを押下してください。  
PC の IP アドレス設定と、リーダー側の IP アドレス設定が不整合となって接続できない場合は、  
リーダー側の IP アドレスを変更するか、PC 側の IP アドレスまたはサブネットマスクの値を変更してください。  
※PC の IP アドレスとサブネットマスクの変更方法は「UTRRWManager 取扱説明書」をご参照ください。



### 3 アンテナの設定

[使用アンテナ]よりプルダウンを押下し、使用するアンテナ ANT0～ANT2 より選択します。

※リーダライタの設定初期状態では、ANT0 が選択されています。

<アンテナの割当>

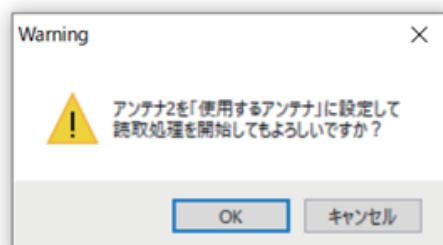
ANT0：リーダライタ内蔵アンテナ

ANT1：外付けアンテナ 1

ANT2：外付けアンテナ 2



なお [START] ボタンを押下後、以下の画面が表示された場合には、画面上の [OK] ボタンを押下するとアンテナの設定が反映されます。



### 4 読み取り時間の設定

[読取時間(秒)]より1～60秒までの読み取り時間の設定が可能です。



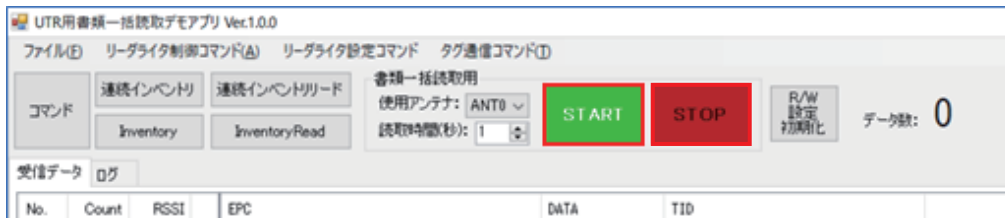
読み取り時間のカウントは、読み取り待機時間内(最大20秒間)に、1枚目のRFタグを読み取った時点より開始されます。



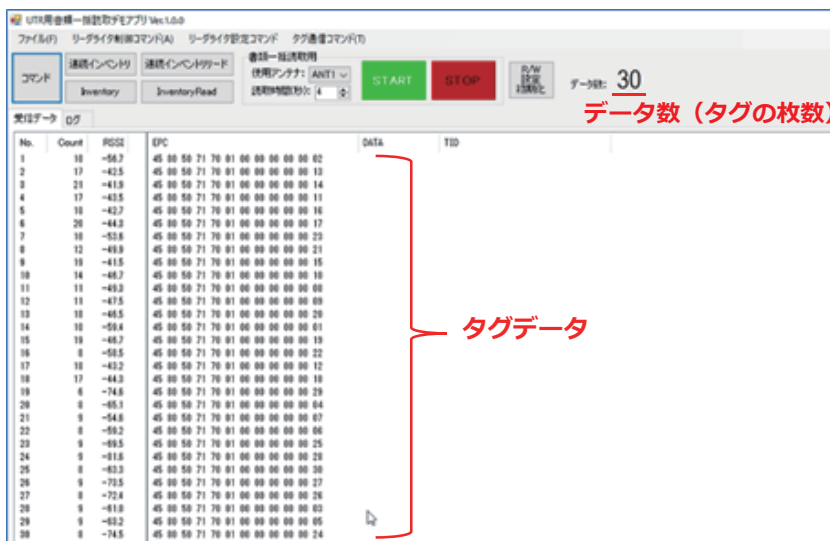
## 5 読み取りの開始/停止

[START] ボタンを押下すると、設定した読み取り時間で、読み取りを開始します。

[STOP] ボタンを押下すると、設定した読み取り時間途中であっても、読み取りを停止します。



読み取りを開始し、RF タグを読み取るとタグのデータとデータ数 (タグの枚数) を表示します。



### <参考> リーダライタが正常に読み取りできない場合

リーダライタの設定状態がわからないなどの理由により、正常に読み取りできない場合には、リーダライタの設定初期化をお試しください。

[R/W 設定初期化] ボタンを押下し、リーダライタの設定初期化が可能です。



以下の画面で【はい】ボタンを押下すると、リーダライタの設定が工場出荷時設定となります。

